

平成24年における死亡災害事例

整理番号	発生日	事業の種類	事故の型 起因物	災害の概要
1	1月	土木工事業	交通事故 トラック	事業場から建設工事現場に向かうため、国道を軽トラックで走行中、対向車線を越え、進行方向右側の電柱に激突した。
2	1月	その他の建設業	おぼれ 建築物、構築物	鉄道線路わきの流雪溝(雪を流水を利用して流下させ、排雪するための設備。幅80cm、深さ65cm、水深20cm、水温3℃)の上部を覆った雪を取り除く作業において、スノーダンプを用いて雪を削り取るようにして流雪溝に落としていたところ、誤って、当該流雪溝に転落し、約70m流され、水路にスノーダンプとともに支えているところを発見、救助されたが、数時間後、死亡が確認された。
3	1月	その他の事業	感電 電力設備	予備電源室において、電気設備点検業務委託に係る出張点検作業を行っていた被災者が、引込盤内底面に落ちていたネズミの死骸を掃除機を使用して吸い込もうとしたところ、右手が導帯(高圧活線)に触れたため感電した。被災者が触れた引込盤の下部の高圧活線は、絶縁被覆の無い状態で、交流6600ボルトの電圧がかかっていた。
4	2月	建築工事業	墜落、転落 掘削用機械	解体工事において、木造平屋の住宅屋根上で作業していた労働者を隣接する木造平屋の住宅屋根上(屋根最上部の高さ約4メートル)に移動させるため、パワーショベルのバケットに搭乗させ、労働者が屋根に完全に乗り移らないうちにバケットを旋回させたため、約4メートル下の地面に墜落した。
5	3月	一般機械器具製造業	墜落、転落 作業床、歩み板	取引先の砕石工場において、被災者は労働者1名とともに、ベルトコンベヤー調整作業等に従事していた。コンベヤーに付属している作業床上(地面からの高さ9.35m)において、砕石等の落下防止用のスカートゴム板(長さ2.43m×幅0.22m)を取り付ける作業を一人で行っていたところ、バランスを崩す等何らかの事由により開口部分より地面へ墜落した。
6	6月	土木工事業	崩壊、倒壊 地山、岩石	重機(ドラグ・ショベル)を積載したトレーラーで、山中の公道を走行中、迂回路から市道へ戻る合流地点で切り返しをしている時に、道路脇の斜面から落石が発生し、当該落石が運転席部分の屋根を直撃した。
7	7月	その他の接客娯楽業	墜落、転落 建築物、構築物	被災者は、刈払機を使用し、1人で野球場外の土手において草刈り作業を行っていたところ、土手の端の石垣(高さ1.25m)から転落した。
8	9月	教育・研究業	墜落、転落 はしご等	被災者は、学校のグラウンドに生えている桜の木の枝を切断するため、三脚脚立に上り、チェーンソーを用いて、枝を切断したところ、脚立上部で作業をしていた被災者はバランスを崩して、高さ約3mの位置から地上に墜落した。

整理番号	発生月	事業の種類	事故の型 起因物	災害の概要
9	9月	土木工事業	はさまれ、巻き込まれ 移動式クレーン	被災者は、林道の復旧工事現場において、解体した足場材料を積載型トラッククレーンの荷台に積み込み、同クレーンを移動させるため、アウトリガを10数センチ程度引き上げたところ、不意にクレーンが後退し、アウトリガと擁壁との間にはさまれた。
10	9月	化学工業	有害物等との接触 有害物	被災者はペットボトルに入れてあった弗化水素酸を誤飲し、死亡した。
11	11月	土木工事業	激突され 立木等	道路改良工事現場において、チェーンソーを使用し支障木の伐倒作業を行っていた労働者が伐倒木(ナラ、胸高直径36センチメートル、伐根直径41センチメートル、樹高約14メートル、樹齢40～45年)の下敷きとなった。
12	11月	林業	墜落、転落 通路	被災者は、山林にて、立木を獣害から防護するための薬剤塗布の作業を終え、林道に停車している車まで帰る下山途中に、急峻な斜面から約40メートル下にある沢の河原まで滑落した。
13	12月	建築工事業	激突され 玉掛用具	移動式クレーン(つり上げ荷重2.5t)を用いて材木の束(プレカットされた集成材28本、重さ約700kg)を床上に搬入する作業をしていたところ、材木の束ををつり上げていたベルトスリングが横方向に移動し、材木の束の片方が床面に落下し、その反動で材木の束が飛び跳ね、被災者に激突した。